

TRANSCRIPTION

－その効果と課題－

内 藤 徹

(2013年1月31日受理)

Transcription

－ Benefits and limitations －

NAITO, Tohru

Abstract :

It is accepted by some scholars that transcription practice improves listening ability in English learning. We define transcription here as writing what is listened to using schema. This also includes the context, understanding of words in the discourse.

In 1996 I conducted listening comprehension exercises using *n*th format spot dictation fifteen times for a period of two months. The results were as follows; Spot dictation training improved 1) listening ability, 2) cloze-type reading ability, 3) skim-reading ability.

Most recently, I had the target group do transcription training twenty times over a period of three months. At this time, the learners' listening ability improved. Reading ability also improved but not significantly. I found transcription training to be slightly less effective than spot dictation. I might need some more techniques.

キーワードズ key words :

リスニング (listening)、リーディング (reading)、転移 (transfer)

1. はじめに

発話されるものを聞いてそれを書き取る TRANSCRIPTION は LISTENING の訓練として効果があると考えられる。これは、聞こえる言葉をただ書き取るだけでなく、前後関係を考え SCHEMA を働かせながら聞き取らなければ書き取ることはできないであろう。

以前には、同様な LISTENING の訓練として SPOT DICTATION を行い、それから得られたデータを分析することにより、その効果について

述べた。今回、TRANSCRIPTION を 20 回、約 3 ヶ月間行うことによって、どのような効果があるのかを調べてみたい。

2. 先行文献研究と目的

ここで言う TRANSCRIPTION とは、書き写す COPYING とは異なり、音声言語を聴き意味を考えながら文字言語にすることである。

ALLEN AND VALETTE (1972) は WRITTEN TRANSCRIPTION について次のように述べている。

Advanced students should be allowed to listen to a recording several times to try to understand every word that is being said. As they listen, they write out what they hear, that is, they make a written transcription of the selection.

そして、TYPES OF TRANSCRIPTION として次の3つをあげている。

- (1) Full transcription: The student writes down the entire selection.
- (2) Partial transcription: The student is given a Ditto sheet in which difficult parts, garbled sections, and the like are written out. He fills in the remaining text.
- (3) Graded transcriptions: The best students do a full transcription.

Good students get a Ditto on which several very difficult parts are written out. Average students get a Ditto on which all difficult parts are written out.

一般的に、普通の英語学習者に TRANSCRIPTION を与える場合、約1頁のテキスト全てを書き取らせるのは負担が大きいのので、部分的に、有意味なDISCOURSEの中で書き取らせるのが適当であると考えられる。また、予備実験の結果でもそういうことが言えた。

なお、内藤(1996)は NTH FORMAT を用いた SPOT DICTATION を一定期間行うことによって、学習者の

- (1) LISTENING の学力を伸ばすことができる。
- (2) 同じ FORMAT を用いた文字 CLOZE の学力も伸ばすことができる。
- (3) READING (SKIMMING) の学力も伸ばすことができる。

という3点を明らかにしているが、TRANSCRIPTION でも(1)や(3)と同じ様な効果が得られるのかどうかを調べてみたい。

3. 実験研究

1) 仮説:

一定期間 TRANSCRIPTION という訓練を与

えることによって、学習者の

- (1) LISTENING の学力を伸ばすことができる。
- (2) READING (SKIMMING) の学力を伸ばすことができる。

2) 被験者

S 高等学校 1年1、2組(特進クラス) 3、6組(普通クラス)

合計 165名

[2組、6組は実験群: 1組、3組は統制群]

3) 期間、教材、方法、進度 [2組、6組]

期間: 4月中旬-7月中旬(約3か月)

教材: HILL, L.A., *ELEMENTARY*

STEPS TO UNDERSTANDING, OXFORD UNIVERSITY PRESS.

LESSONS 1 - 20 (20回分)

音声は米国人 A L T によって録音された TAPE を使用

方法: 週に2回程度、L. L. 教室で各自用意した TAPE に教材を聞きながら録音する。その後、STORY について簡単に説明される。そして、その TAPE を自宅に持ち帰り、何回も聞いて与えられた SHEET の空白の部分を書き取る。次回に正解を配布され、自分の書き取った英文の訂正を行い、その後再度聞いて FEEDBACK を行う。なお、書き取る部分は、1 STORY の中間部分にあたる1 PARAGRAPH である。理由は、予備実験の結果、1 LESSON 全てを書き取るのに、個人差もあるが1時間から1時間30分かかるので、かなり負担も多いと判断したからである。また、中間部分を選んだのは、前後が与えられていれば、SCHEMA などを働かせて推測することができ、さらに書き取る負担を軽減することによって、全体を聞くことにより集中させることができると考えたからである。[SHEET は資料参照]

進度: 実験群には3か月間上記の方法で教材を与えたが、英語 I やオーラル・コミュ

ニケーションの進捗は、4クラスとも全く同じである。なお、統制群もLLにおいて普通の授業は行った。

模試 = ベネッセ模試

4) 使用テスト

校内模試 = 校内実力テスト
 LISTENING = 全英連リスニングテスト
 放送テストC、D = 福井県英語放送テストC、D
 SKIM-READING = 福井県英語リーディングテストC

5) 分析方法 [Hatch (1982)]

t 検定
 [2つの点数の有意差検定]
 KR-21 (KUDER-RICHARDSON 21 FORMULA) [信頼度係数]
 標準偏差 (STANDARD DEVIATION)
 [分布]

4. 結果および分析

訓練前

TABLE 1

2組 (N=42) 実験群

	校内模試	LISTENING
TOTAL	2633	2953
MEAN	62.7	70.3
SD	10.5	13.0
MAX	88	90
MIN	35	30
RANGE	53	60
RT	0.80	0.89

1組 (N=42) 統制群

	校内模試	LISTENING
TOTAL	2646	2990
MEAN	63.0	71.2
SD	11.4	12.0
MAX	86	90
MIN	33	35
RANGE	53	55
RT	0.83	0.87

TABLE 2

6組 (N=40) 実験群

	校内模試	LISTENING
TOTAL	2032	2296
MEAN	50.8	57.4
SD	11.2	13.0
MAX	78	85
MIN	24	30
RANGE	54	55
RT	0.81	0.86

3組 (N=41) 統制群

	校内模試	LISTENING
TOTAL	2251	2263
MEAN	54.9	55.2
SD	12.1	14.0
MAX	68	85
MIN	25	30
RANGE	43	55
RT	0.84	0.88

TABLE 3

2組と1組の t 検定 (特進クラス)

校内模試 p < 0.9
 LISTENING p < 0.8

6組と3組の t 検定 (普通クラス)

校内模試 p < 0.2
 LISTENING p < 0.5

TABLE 4

特進と普通クラスの t 検定

校内模試、LISTENING とともに ***p < 0.001

訓練後

TABLE 5

2組 (N=42) 実験群

	放送テストC				
	HT合	問1	問2	問3	問4
TOTAL	3715	960	920	900	935
MEAN	88.5	22.9	21.9	21.4	22.3
SD	9.6	3.1	3.6	4.4	4.3
MAX	100				
MIN	60				
RANGE	40				
RT	0.90				

放送テストD				
HT合	問1	問2	問3	問4
2795	705	895	470	725
66.5	16.8	21.3	11.2	17.3
15.2	5.4	5.0	7.8	3.0
95				
29				
66				
0.91				

	SKIM-READING	模試
TOTAL	2878	1504
MEAN	70.2	35.8
SD	20.5	10.0
MAX	100	55
MIN	20	23
RANGE	80	32
RT	0.96	0.78

1組 (N=42) 統制群

	放送テストC				
	HT合	問1	問2	問3	問4
TOTAL	3270	890	780	780	820
MEAN	81.8	22.3	19.5	19.5	20.5
SD	9.7	3.9	4.8	4.3	3.8
MAX	100				
MIN	60				
RANGE	40				
RT	0.85				

放送テストD				
HT合	問1	問2	問3	問4
2315	560	885	190	680
55.1	13.3	21.1	4.5	16.2
13.9	6.2	5.4	5.3	4.4
85				
15				
70				
0.88				

	SKIM-READING	模試
TOTAL	2678	1470
MEAN	65.3	35.0
SD	18.1	9.0
MAX	100	48
MIN	20	28
RANGE	80	20
RT	0.94	0.73

TABLE 6

6組 (N=40) 実験群

	放送テストC				
	HT合	問1	問2	問3	問4
TOTAL	3065	835	740	680	810
MEAN	80.7	22.0	19.5	17.9	21.3
SD	10.6	4.5	4.4	4.7	3.9
MAX	100				
MIN	55				
RANGE	45				
RT	0.87				

放送テストD				
HT合	問1	問2	問3	問4
2075	455	805	245	570
51.9	12.3	21.8	6.6	15.4
18.6	5.8	5.1	5.5	3.2
80				
0				
80				
0.94				

	SKIM-READING	模試
TOTAL	2288	1100
MEAN	57.2	27.5
SD	19.2	7.5
MAX	100	36
MIN	13	11
RANGE	87	25
RT	0.94	0.65

3組 (N=41) 統制群

	放送テストC				
	HT合	問1	問2	問3	問4
TOTAL	2894	801	691	636	766
MEAN	74.2	20.5	17.7	16.3	19.6
SD	11.1	3.8	5.4	4.6	5.6
MAX	95				
MIN	50				
RANGE	45				
RT	0.87				

放送テストD				
HT合	問1	問2	問3	問4
1744	368	800	164	412
43.6	9.2	20.0	4.1	10.3
14.3	5.6	5.0	5.3	3.9
75				
5				
70				
0.90				

	SKIM-READING	模試
TOTAL	2012	1099
MEAN	50.3	26.8
SD	19.3	8.9
MAX	100	55
MIN	12	11
RANGE	88	44
RT	0.94	0.76

TABEL 7

2組と1組の t 検定 (特進クラス)

H T . C 合計	**p<0.003	H T . D 合計	***p<0.001	SKIM-READING	模試
問 1	p<0.5	問 1	**p<0.008	p<0.3	p<0.8
問 2	*p<0.02	問 2	p<0.9		
問 3	p<0.06	問 3	***p<0.001		
問 4	p<0.06	問 4	p<0.2		

TABLE 8

6組と3組の t 検定 (普通クラス)

H T . C 合計	*p<0.02	H T . D 合計	*p<0.03	SKIM-READING	模試
問 1	p<0.2	問 1	*p<0.02	p<0.2	p<0.6
問 2	p<0.2	問 2	p<0.2		
問 3	p<0.2	問 3	*p<0.05		
問 4	p<0.2	問 4	***p<0.001		

H T の内容	H T . C	問 1	絵と合う文を選ぶ
		問 2	英文を聞き、それが何かを選ぶ
		問 3	対話を聞き、最後にチャイムが鳴り、その後にとどの文が来るかを選ぶ
		問 4	パッセージを聞き、質問の答えを選ぶ
	H T . D	問 1	対話を聞き、質問の答えを選ぶ
		問 2	パッセージを聞き、質問の答えを選ぶ
		問 3	説明文を聞き、それが何かを選ぶ
		問 4	音変化 (リンク、同化、短縮等) を聞き、書き取る

5. 考 察

TRANSCRIPTION を行う前に PRE-TEST として、それぞれのクラスに差があるかどうかを調べた [TABLES 1 & 2]。校内模試において、1組は 63.0、2組は 62.7、3組は 54.9、6組は 50.8 であった。そして、LISTENING TEST においては、1組は 71.2、2組は 70.3、3組は 55.2、6組は 57.4 であった。t 検定の結果 [TABLE 3]、校内模試においても、LISTENING TEST においても、特進クラスの 1・2組にも、普通クラスの 3・6組にも有意差は見られなかった。従って、2つの特進クラスおよび2つの普通クラスは、それぞれほぼ等質なクラスと言える。また、1・2組の特進クラスと 3・6組の普通クラスの間には、校内模試と LISTENING

TEST の両方において 0.1% 水準で有意差があった [TABLE 4]。従って、1・2組は学力上位群、3・6組は学力下位群と言える。なお、2・6組はTRANSCRIPTIONを与える実験群で、1・3組は与えない統制群である。

4月中旬から7月中旬までの約3か月間(20回)、実験群の2クラスにTRANSCRIPTIONの訓練を与えた。そして、その結果を調べるためにテストを行った [TABLES 5 & 6]。まず、実験群の2組と統制群の1組の比較である。放送テストCにおいては、それぞれ 88.5 と 81.8、放送テストDにおいては 66.5 と 55.1 で、t 検定の結果 [TABLE 7]、放送テストCでは 0.3% 水準で、放送テストDでは0.1% 水準で有意差が見られた。しかし、READING TEST では 70.2 と 65.3、模試では 35.8 と 35.0で、t 検定の結果有

意差は見られなかった。次に、実験群の6組と統制群の3組の比較である。放送テストCにおいては、それぞれ80.7と74.2、放送テストDにおいては51.9と43.6で、t検定の結果〔TABLE 8〕、放送テストCでは2%水準で、放送テストDでは3%水準で有意差が見られた。しかし、READING TESTでは57.2と50.3、模試では27.5と26.8で、t検定の結果有意差は見られなかった。

それでは、仮説の検証である。一定期間TRANSCRIPTIONという訓練を与えることによって、学習者の「(1) LISTENINGの学力を伸ばすことができる」というのは、統制群と比較して有意差が見られ、実験群の学力上位群および学力下位群の両クラスにおいてその学力を伸ばすことができた。従って、仮説(1)は支持されたことになる。「(2) READING (SKIMMING)の学力を伸ばすことができる」というのは、実験群の両クラスとも統制群と比較して若干その学力の伸びは見られたが、有意差が見られるには到らなかった。従って、仮説(2)は支持されたことにはならない。

6. おわりに

TRANSCRIPTIONという訓練を約3か月間20回行うことによって、LISTENINGの学力を伸ばすことができた。これは、学習者が一生懸命に聞いて書き取ろうとすることによって、前後関係をつかみ、また音変化などにも慣れて、聞く学力を伸ばすことになったものと考えられる。しかし、以前 SPOT DICTATIONを15回与えた時のように READING (SKIMMING)の学力を伸ばす、いわゆる READING への転移、までには到らなかった。

以上のことを考えると、TRANSCRIPTIONは、より効果のある LISTENING の訓練としてはやや限界があり、SPOT DICTATION など他の LISTENING も行い、その中の1つの訓練方法として TRANSCRIPTIONを加えていくのが良いと考えられる。

最後に、放送テストDにおいて、問1・問3で学力上位・下位群とも実験群の伸長が見られるが、問2での伸長は見られない。PASSAGEをきちんと聞き取るまでには到っていないと考えられる。また、問4の音変化を聞いて書き取る力が、学力下位群において伸長が見られる。今後 TRANSCRIPTION の訓練方法にも工夫が必要かもしれない。これからの課題である。

引用および参考文献

- Allen, Edward David and Rebecca M. Valette, *Modern Language Classroom Techniques: A Handbook*. New York : Harcourt Brace Javanovich, Inc., P.158 (1972)
- Hatch, Evelyn and Hossein Farhady, *Research Design and Statistics for Applied Linguistics*. Newbury House Publishers, Inc., P.59, PP.108-127, P.248 (1982)
- Hill, L. A., *Elementary Steps to Understanding*, Oxford University Press, (1980)
- Larsen-Freeman, Diane & Michael H. Long, *An Introduction to Second Language Acquisition Research*, Longman Group Limited (1992)
- 望月正道, 『英語語彙の指導マニュアル』 大修館書店, P.117-125, (2003)
- 内藤 徹, 『新しい 英語教育ハンドブック』 リーベル出版 (Liber Press), P.17-37 (1996)
- 内藤 徹, 「NTH FORMAT を用いた SPOT DICTATION の効果」『中部地区英語教育学会・紀要 26』, P.107-112 (1997)
- Richards, Jack, John Platt and Heidi Weber, *Longman Dictionary of Applied Linguistics*, Longman Group Limited, P.195, P.297 (1985)
- 吉田一衛, 『英語のリスニング』 大修館書店, P.128 (1984)

資料：TRANSCRIPTION 訓練用シート

12

Mick lived in the country, and he had quite a big garden. He grew vegetables, and he had some nice, fat chickens too. He sold the eggs and the meat, and got quite a lot of money for them.

Now Mick wanted a new fence between his garden and his neighbor's, so Mr. Biggs came to build it. Mick said to him, 'Please make the fence out of strong wood. And I want a hole in it. Make it big enough for my chickens to get into my neighbor's garden and eat his vegetables, but too small for his to get into mine and eat mine'.

正解：

His neighbor had a big garden too, and he also had vegetables and nice, fat chickens in it. There was a wire fence between the gardens, but it was very old, and the chickens often found holes in it and went through.